

**令和 3 年度
豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価結果報告書（案）**

（令和 2 年度個別戦略評価）

令和 3 年 月

豊橋市

目次

I. はじめに	3
1. 地方創生の動き.....	3
2. 総合戦略における5つの戦略.....	6
3. 評価結果報告書について.....	6
II. 総合戦略の評価	7
1. 総合戦略の評価の仕組み.....	7
2. 総合戦略の評価結果.....	8
III. 個別戦略の評価	9
1. 個別戦略評価シートについて.....	9
2. 豊橋市まちづくり市民会議からの意見.....	31
IV. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について	32
参考資料	33
1. 豊橋市の人口.....	34
2. 総合戦略に関連する細事業評価.....	38

1. はじめに

1. 地方創生の動き

豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」と略）は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成 27 年 10 月に策定しました。総合戦略は、様々な分野で展開する本市の政策を人口減少社会への対応の観点から分野横断的かつ重点化して取り組むもので、計画期間は平成 27 年度から令和 2 年度までの 6 年間となります。

令和 2 年度は、総合戦略の計画期間終了に伴い、さらなる人口減少対策を推進するため、令和 3 年 2 月、第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略（第 6 次豊橋市総合計画まちづくり戦略）を策定しました。

■これまでの地方創生の動き

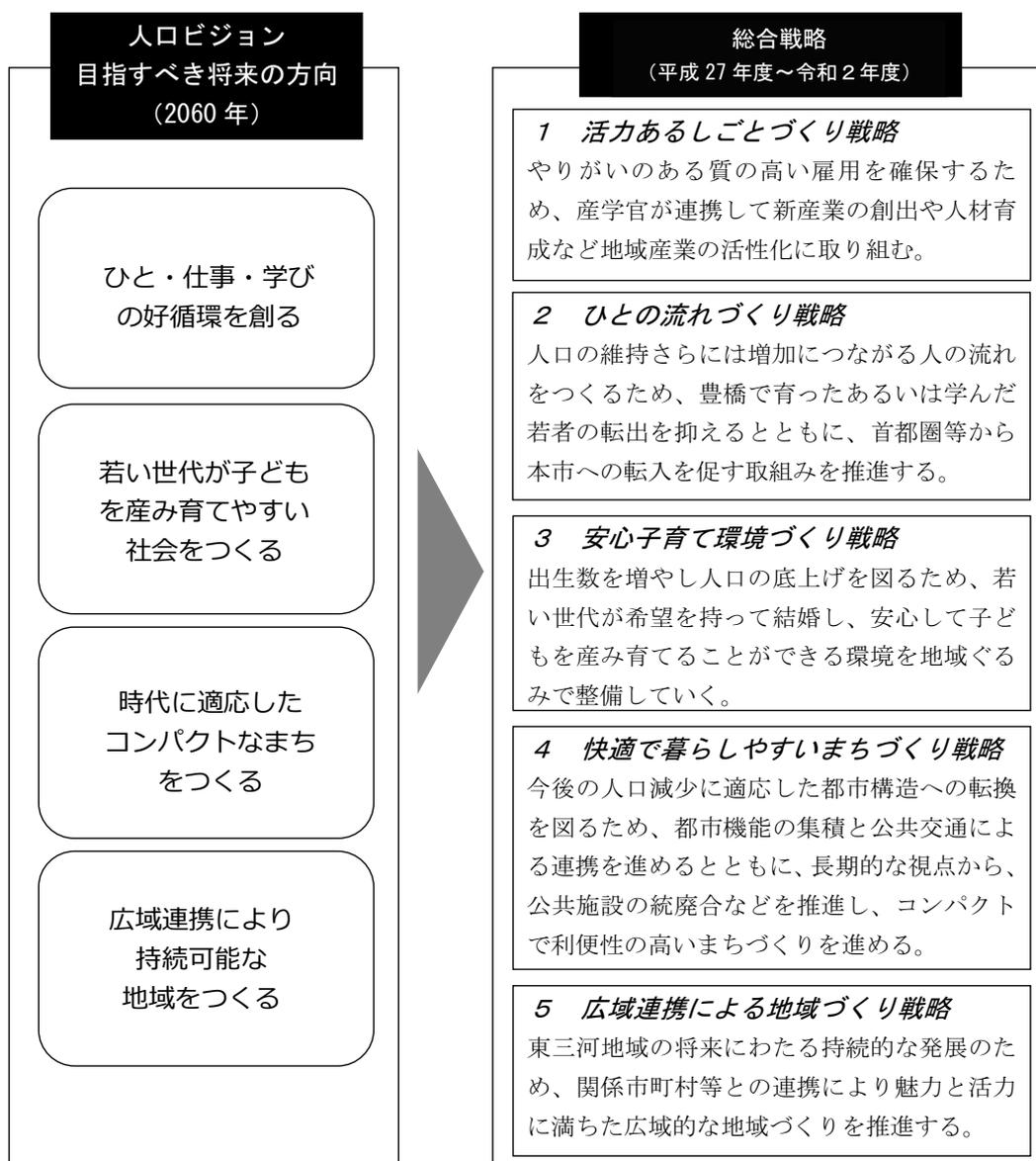
	国の動き	豊橋市の動き
平成 26 年度	<p>【11/28】まち・ひと・しごと創生法の制定</p> <p>【12/27】まち・ひと・しごと創生長期ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の閣議決定</p>	<p>【1/26】豊橋市まち・ひと・しごと創生本部の設置、第 1 回創生本部の開催（計 2 回開催）</p> <p>【3/24】地方創生先行型基礎交付金の交付決定（14 事業）</p>
平成 27 年度	<p>【6/30】まち・ひと・しごと創生基本方針 2015、経済財政運営と改革の基本方針 2015 の閣議決定</p> <p>【12/24】まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015 改定版）の閣議決定</p>	<p>【4/21】第 1 回豊橋市まち・ひと・しごと創生本部の開催（計 8 回開催）</p> <p>【5/11】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の設置、第 1 回推進協議会の開催（計 3 回開催）</p> <p>【10/28】豊橋市人口ビジョン、豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び同アクションプランの策定</p> <p>【11/10】地方創生先行型上乗せ交付金の交付決定（5 事業）</p> <p>【3/29】地方創生加速化交付金の交付決定（3 事業）</p>

	国の動き	豊橋市の動き
平成 28 年度	<p>【6/2】まち・ひと・しごと創生基本方針 2016、経済財政運営と改革の基本方針 2016 の閣議決定</p> <p>【12/22】まち・ひと・しごと創生総合戦略（2016 改定版）の閣議決定</p>	<p>【4/20】第 1 回豊橋市まち・ひと・しごと創生本部の開催（計 7 回開催）</p> <p>【8/3】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の開催</p> <p>【8/30】地方創生推進交付金の交付決定（1 事業）</p> <p>【10/31】平成 28 年度豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書（平成 27 年度個別戦略評価）の公表</p> <p>【2/24】地方創生拠点整備交付金の交付決定（2 事業）</p> <p>【3/29】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン 2017 の策定</p> <p>【4/3】地方創生推進交付金の交付決定（4 事業）</p> <p>【4/18】第 1 回豊橋市まち・ひと・しごと創生本部の開催（計 3 回開催）</p> <p>【5/31】地方創生推進交付金の交付決定（3 事業）</p> <p>【8/1】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の開催</p> <p>【12/28】平成 29 年度豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書（平成 28 年度個別戦略評価）の公表</p> <p>【3/26】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン 2018 の策定</p> <p>【4/1】地方創生推進交付金の交付決定（5 事業）</p> <p>【4/17】第 1 回豊橋市まち・ひと・しごと創生本部の開催（計 2 回開催）</p> <p>【8/9】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の開催（計 2 回開催）</p> <p>【9/3】平成 30 年度豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書（平成 29 年度個別戦略評価）の公表</p>
平成 29 年度	<p>【6/9】まち・ひと・しごと創生基本方針 2017、経済財政運営と改革の基本方針 2017 の閣議決定</p> <p>【12/22】まち・ひと・しごと創生総合戦略（2017 改定版）の閣議決定</p>	
平成 30 年度	<p>【6/15】まち・ひと・しごと創生基本方針 2018、経済財政運営と改革の基本方針 2018 の閣議決定</p> <p>【12/21】まち・ひと・しごと創生総合戦略（2018 改定版）の閣議決定</p>	

	国の動き	豊橋市の動き
令和元年度	<p>【6/21】まち・ひと・しごと創生基本方針2019、経済財政運営と改革の基本方針2019の閣議決定</p>	<p>【4/1】地方創生推進交付金の交付決定(5事業)</p> <p>【4/23】第1回豊橋市まち・ひと・しごと創生本部の開催(計4回開催)</p> <p>【7/16】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の開催(計2回開催)</p> <p>【9/2】令和元年度豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書(平成30年度個別戦略評価)の公表</p> <p>【10/28】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略総括報告書の公表</p>
令和2年度	<p>【12/20】まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の閣議決定</p> <p>【7/17】まち・ひと・しごと創生基本方針2020の閣議決定</p> <p>【12/21】第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改訂版)の閣議決定</p>	<p>【4/1】地方創生推進交付金の交付決定(4事業)</p> <p>【4/14】第1回豊橋市まち・ひと・しごと創生本部の開催(計5回開催)</p> <p>【7/16】豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会の開催</p> <p>【9/1】令和2年度豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書(令和元年度個別戦略評価)の公表</p> <p>【2/10】第2期豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定 ※第6次豊橋市総合計画まちづくり戦略と一体的に策定</p> <p>【3/31】第6次豊橋市総合計画実施計画(令和3～5年度)公表</p>

2. 総合戦略における5つの戦略

総合戦略では、豊橋市人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向を踏まえ、2060年における本市の人口について、少なくとも30万人を維持するとともに、取り組みの相乗効果も見込んで33万人を目指すこととしました。そのため、それまでの課題認識を踏まえた平成27年度から令和2年度までの総合的な人口減少対策として、5つの戦略を掲げました。



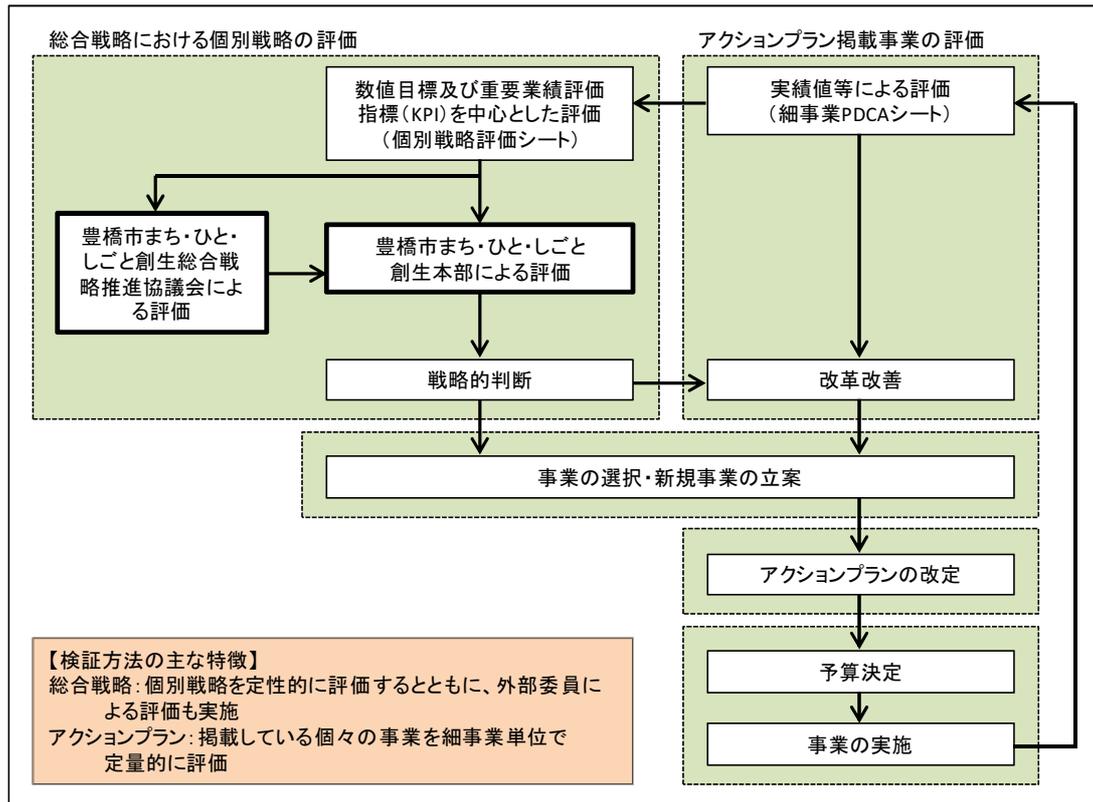
3. 評価結果報告書について

この評価結果報告書は、総合戦略に掲げる5つの個別戦略の総合評価を「個別戦略評価シート」としてとりまとめ、年次報告として公表するものです。

II. 総合戦略の評価

1. 総合戦略の評価の仕組み

数値目標や重要業績評価指標（KPI）の動きを中心に、個別戦略評価シートを活用して、妥当性、有効性、効率性の観点から定性的な評価を行います。また、評価結果に基づき、個々の事業について毎年見直しを行い、改善を実施するとともに、新たな事業の立案にも取り組みます。



2. 総合戦略の評価結果

総合戦略の実施6年目（最終年度）にあたる令和2年度は、2つの個別戦略で「概ね順調に進んでいる」、3つの個別戦略で「あまり順調に進んでいない」という評価結果となりました。人口減少への適応と緩和を目的に、様々な事業を推進しましたが、いくつかの指標において数値の下降がみられる状況となりました。これは、感染症蔓延によって社会情勢が大きく変化していることなどが主な要因であると考えています。

個別戦略名	総合評価	
	R 2	(参考) R 1
1. 活力あるしごとづくり戦略	B	B
2. ひとの流れづくり戦略	C	C
3. 安心子育て環境づくり戦略	C	C
4. 快適で暮らしやすいまちづくり戦略	B	B
5. 広域連携による地域づくり戦略	C	B

III. 個別戦略の評価

1. 個別戦略評価シートについて

総合戦略における5つの個別戦略について、数値目標や重要業績評価指標（KPI）を中心に、成果や課題などを踏まえた総合評価を行うとともに、目標達成に向けた今後の展開を示すものです。

■【基本目標】

個別戦略の基本目標、その達成を測る数値目標及び令和2年度の目標値を記載しています。

■【重要業績評価指標（KPI）】

基本目標の達成に向けた施策ごとの成果を測る重要業績評価指標（KPI）を記載しています。

■【アクションプランの実施状況及び事業評価】

施策ごとの主な成果や課題、施策を構成する細事業の実績評価結果、方向性、決算の集計（千円未満切り捨て）を記載しています。

■【個別戦略の総合評価】

数値目標や重要業績評価指標（KPI）の動きに成果や課題を踏まえた総合評価の結果を、下記のいずれかで示しています。

A：順調に進んでいる

B：概ね順調に進んでいる

C：あまり順調に進んでいない

■【今後の展開】

総合戦略を推進するうえで今後重点的に進めていきたい取り組み内容や改善点などを記載しています。

個別戦略評価シート

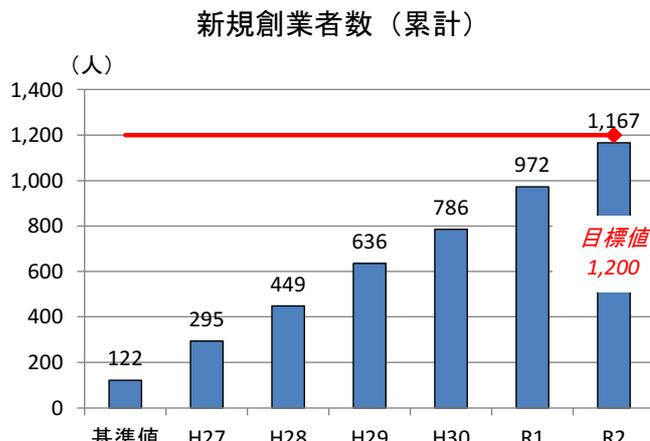
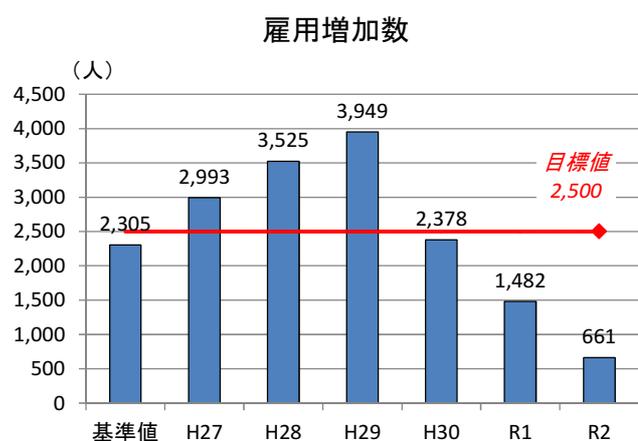
個別戦略

1 活力あるしごとづくり戦略

基本目標

やりがいのある質の高い雇用を確保するため、産学官が連携して新産業の創出や人材育成など地域産業の活性化に取り組みます。

数値目標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
雇用増加数	2,305人	2,993人	3,525人	3,949人	2,378人	1,482人	661人	2,500人
新規創業者数 (累計)	122人	295人	449人	636人	786人	972人	1,167人	1,200人



重要業績評価指標 (KPI)

1-1 新産業の創出支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
新産業創出関連事業参加者数	4,609人	4,973人	6,107人	7,751人	12,673人	13,548人	9,954人	13,000人

1-2 産業集積の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
産業用地における立地企業数 (累計)	36社	36社	39社	41社	43社	45社	47社	47社

1-3 就業促進・人材育成支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
産業人材育成事業参加者数	228人	1,589人	3,000人	3,475人	5,097人	5,378人	3,441人	5,300人

1-4 事業者の経営力強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
制度融資総額に占める設備資金融資額の割合	23.5%	23.0%	23.4%	19.9%	23.4%	21.3%	26.5%	27.0%

▼アクションプランの実施状況及び事業評価

1-1 新産業の創出支援

- ・豊橋サイエンスコアの「豊橋イノベーションガーデン」において、コロナ禍においても企業活動を継続させ、さらに発展していけるよう多角的な支援を行い、新商品開発や新規ビジネスの創出の加速化を図りました。（豊橋イノベーションガーデン運営事業）
- ・柔軟な発想や優れた技術力を持つスタートアップ企業と、社会・地域課題を詳しく知る市職員が協働し、最適な解決手法を設計するとともに、サービスの実証・構築を目指す取り組みを実施しました。（官民一体型新ビジネス創出事業）

対象事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	－	充実	縮小	維持	完了・廃止	
11	2	5	0	4	0	0	11	0	163,174

1-2 産業集積の促進

- ・研究開発施設の立地や土地取得に対する助成の追加、及び立地に伴い本市に転入した従業員の児童も雇用促進奨励金の対象とするなど、企業立地促進制度を拡充しました。（企業立地促進奨励金の充実）
- ・本社機能移転（東京23区内からの移転に限る。）又は、特定業務施設を地方活力向上地域に立地し、立地奨励金交付対象となった者に対して、課税の優遇等の特例が受けられるようになっています。（地方拠点強化税制活用事業）
- ・計画的に新たな設備投資を進める農業者を支援して収益力を高めることで、産地競争力の強化を図りました。（産地生産基盤パワーアップ事業補助金）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	－	充実	縮小	維持	完了・廃止	
7	4	1	0	2	0	0	6	1	466,695

*実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる
c：あまり順調に進んでいない ー：評価しない

1-3 就業促進・人材育成支援

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により就職活動に影響を受けた新卒者向けや、離職を余儀なくされた方・就職氷河期世代の方向けのWEB 合同企業説明会を計2回開催しました。(中小企業採用戦略支援事業)
- ・検討会議の開催や農業者と福祉事業所とのマッチング実証による農業人材確保と障害者の個性を生かす場の創出を図り、農福連携を推進しました。(農福連携推進事業)
- ・くすのき特別支援学校では、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を図りました。また、専門学科の授業では、校内にあるハウスで栽培したミニトマトを収穫・出荷したり、食品加工の授業で作ったものを地域販売したりすることで、より実践的な教育を進めることができました。(くすのき特別支援学校教育活動事業)
- ・「保育士・保育所支援窓口」において、Youtube の動画配信による新たな保育士の魅力発信に努めたほか、就職相談をはじめ、セミナーや園見学等、潜在保育士の再就職支援を行った結果、106 人の雇用へとつながりました。(保育士・保育所支援窓口事業)
- ・女性の国家資格取得者に対する補助金の交付や再就職に向けた講座及び無料相談の実施など、再就職を目指す女性の就業を促進しました。(女性キャリアアップ応援補助金・女性再就職支援事業)

対象 事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算 (千円)
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
20	9	4	1	6	2	0	18	0	608,958

1-4 事業者の経営力強化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げの落ちている中小企業を対象に、店舗等の維持にかかる賃料等を助成し、事業継続を支援しました。(中小企業賃料補助金ほか)
- ・コロナ禍において事業継続する中小事業者が融資を受ける際の、信用保証料などを助成し、円滑な資金繰りを支援しました。(制度融資信用保証料補助金ほか)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、新たな顧客獲得のために店舗リフォームなどを行う意欲的な個店を支援しました。(がんばる個店応援事業補助金)
- ・創業1年以内の新規創業者に対し、販路拡大や業務効率化に必要な経費を助成し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも意欲的な創業者を支援しました。(スタートアップ緊急支援事業費補助金)
- ・市内店舗で利用可能なプレミアム付きのチケットの販売を支援し、新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げの落ちている市内事業者での消費喚起を促進しました。(豊橋エールチケット補助金)

対象 事業数	実績評価結果				細事業の方向性				決算 (千円)
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
27	0	5	0	22	1	0	12	14	3,283,493

*実績評価結果 a : 順調に進んでいる b : 概ね順調に進んでいる
c : あまり順調に進んでいない — : 評価しない

■個別戦略の総合評価

令和2年度はコロナ禍における営業自粛を余儀なくされたり、コロナ禍においても工夫して事業を継続したりする事業者への支援を中心に経済対策に取り組みました。

数値目標においては、本市の雇用増加数は令和元年度から大幅な減少となりました。しかし、雇用の増加は維持しており、全国の就業者数が減少したことを踏まえると、コロナ禍における一定の雇用を維持することができたと考えています。一方で新規創業者数は、創業支援事業を継続した結果、順調に増加させることができました。KPI では、新産業創出関連事業参加者数、産業人材育成事業参加者数について、コロナ禍で研修会等が開催できなかったこともあり、減少となりましたが、その他のKPIについては順調に数値を伸ばすことができました。

経済対策の取り組みにより一定の効果を上げることができたことから、本個別戦略は概ね順調に進めることができたと認識しています。

目標の達成について

(A：順調に進んでいる B：概ね順調に進んでいる C：あまり順調に進んでいない)

B

■今後の展開

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、個別戦略として「活力みなぎる『しごとづくり』」を掲げ、今後も新型コロナウイルス感染症による影響が続くと考えられますが、迅速な回復、さらには急激な社会情勢への変化にも対応できる強靱な産業を構築していけるよう、スタートアップの育成や新ビジネスの創出、人材育成など、地域産業のさらなる活性化に資する以下のような取り組みを展開していきます。

(主な取り組み)

- ・豊橋イノベーションガーデンを核とした新製品開発や新規ビジネス創出の加速化
- ・衛星データを活用した実証実験等に対する助成
- ・官民協働により地域や社会課題の解決策を開発し実装を図る取り組みの実施
- ・市内工業団地への優良企業の立地促進
- ・農福連携に関する研修会及び農業者と障害者の意見交換会の開催
- ・保育所等への保育士支援システムの拡充
- ・リケジョ魅力発信事業
- ・女性キャリアアップ応援補助金
- ・定住外国人等中高生への日本語学習支援
- ・シルバー人材センターへの支援
- ・高齢者の就労・生きがいつくりの一体的支援

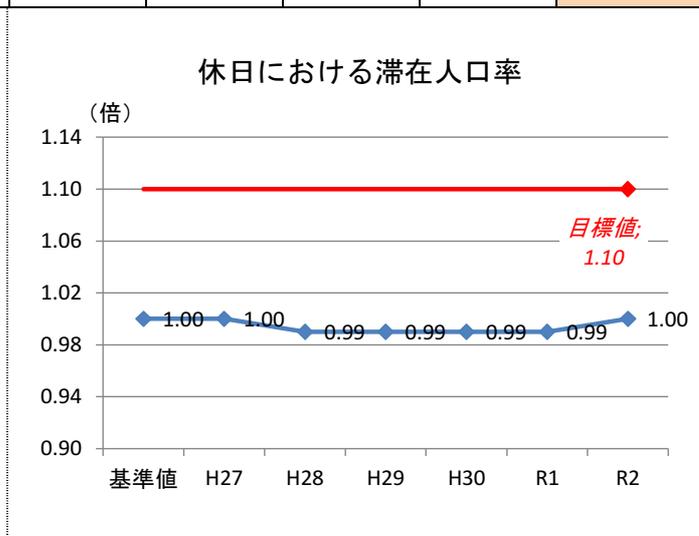
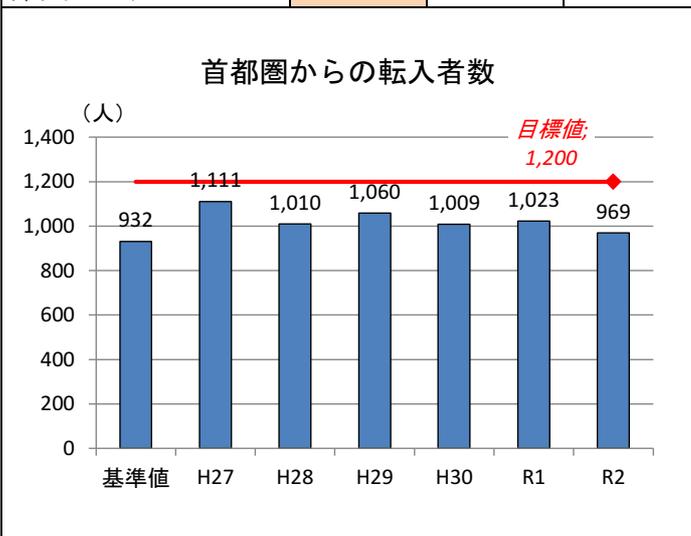
個別戦略

2 ひとの流れづくり戦略

基本目標

人口の維持さらには増加につながる人の流れをつくるため、豊橋で育ったあるいは学んだ若者の転出を抑えるとともに、首都圏等から本市への転入を促す取り組みを推進します。

数値目標	基準値 (H26)	H27	28	29	30	R1	R2	目標値 (R2)
首都圏*1からの 転入者数*2	932人	1,111人	1,010人	1,060人	1,009人	1,023人	969人	1,200人
休日における 滞在人口率*3	1.00倍	1.00倍	0.99倍	0.99倍	0.99倍	0.99倍	1.00倍 (暫定値)	1.10倍



重要業績評価指標 (KPI)

2-1 若者定住都市の推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
若者(15~24歳)の人口	39,885人	39,954人	40,006人	39,985人	40,029人	40,130人	39,165人	維持

2-2 交流人口の拡大

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
市内宿泊施設宿泊者数	611,470人	655,509人	695,104人	726,586人	805,498人	758,996人	367,646人	820,000人

2-3 移住・還流の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
全国移住ナビのアクセス状況ランキング	—	144位	93位	48位	37位	69位	—*4	25位

- *1 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の一都三県
- *2 前年度の10月から当年度の9月までの転入者数
- *3 RESAS(地域経済分析システム)における算出方法が平成29年2月に変更されたことに伴い、基準値、実績値及び目標値を修正
- *4 全国移住ナビ(総務省開設)は、2020(R2)年3月末で閉鎖

▼アクションプランの実施状況及び事業評価

2-1 若者定住都市の推進

- ・南部窓口センター2階に学生の交流空間「ガクラボ」を開設し、大学生・高校生の意欲的な自主活動を支援しました。（学生の学びと交流空間運営事業）
- ・若者の社会貢献活動を応援する「わかば補助金」を実施しましたが、コロナ禍の影響もあり、申請件数は大幅に減少しました。（市民協働推進補助金）
- ・若者のまちづくりの意識醸成のため、「豊橋わかば議会」を開催し、6つの事業を市長へ提案し、事業化することができました。（若者政策提案事業）

対象 事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
16	0	7	4	5	2	0	12	2	863,295

2-2 交流人口の拡大

- ・連続テレビ小説「エール」の放送にあわせ、古関金子さんにちなんだ時代体験イベントやパネルを活用した番組展の実施、オープニングのロケ地となった伊古部海岸や豊橋公園での観光スポットの整備など、シティプロモーションと観光誘客を推進しました。（シティプロモーション活動事業）
- ・開駅1周年を迎えた道の駅「とよはし」では、水曜日のマルシェやウィークエンドマーケットを開催、サイクルツーリズムを中心とした体験型観光プログラムの実施などにより、来駅者196万人を達成しました。（道の駅「とよはし」を中心としたサイクリストの拠点づくりと体験型観光の充実）
- ・のんほいパークでは、新ライオン展示場やバードエリア・ふくろうの森をリニューアルオープンするとともに、自然史博物館の大型映像の上映、ワークショップの開催などにより魅力向上を図りました。新型コロナウイルス感染症の影響による休園を行いましたが、夏の夜間開園『ナイトZOO』では、開催期間の延長や、新たなコンテンツ『くらやみ博物館探検』の実施により、過去最高の入園者数となりました。

対象 事業数	実績評価結果				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
23	1	17	3	2	6	2	13	2	1,033,475

*実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる
c：あまり順調に進んでいない —：評価しない

2-3 移住・還流の促進

- ・移住ホームページのリニューアルや移住交流推進機構（JOIN）の主催するオンライン移住イベント（閲覧者約 12,000 人）に参加し、豊橋の暮らしやすさをアピールしました。（総合戦略推進事業）
- ・豊橋のライフスタイルを紹介する「クラストコ」の vol.5 を発行し、豊橋の魅力を PR しました。（とよはしライフスタイルブック制作事業）
- ・首都圏からの UIJ ターンを希望する首都圏在住者をターゲットに職員採用活動を実施し、首都圏から 5 名採用するなど、就職を契機とした移住促進を図りました。（職員採用事務）

対象 事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
2	1	0	0	1	0	0	2	0	13,350

*実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる
c：あまり順調に進んでいない —：評価しない

■個別戦略の総合評価

令和2年度は、特に連続テレビ小説「エール」を活用した誘客に取り組み、滞在人口率では一定の効果を上げることができました。

数値目標である首都圏からの転入者は、令和元年度と比べると54人の減少となりました。全国で見ると、市町村間の移動者数は減少しており、コロナ禍で人の移動が制限されたことが原因と考えられます。休日における滞在人口率については、例年の水準を維持することができました。KPIの若者（15～24歳）の人口は微減にとどまりましたが、市内宿泊施設宿泊者数については昨年度から大きく減少する結果となりました。

数値目標の宿泊者や転入者では数値が減少していることから、本個別戦略では、ポストコロナを見据え、今後さらなる取り組みを実施していく必要があると認識しています。

目標の達成に向けた進捗状況

(A：順調に進んでいる B：概ね順調に進んでいる C：あまり順調に進んでいない)

C

■今後の展開

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、個別戦略「選ばれ集う『ひとの流れづくり』」を掲げ、交流人口、関係人口の拡大とともに、転入数の増加と転出数の減少を目指し、横断的、効果的な取り組みを展開していきます。

(主な取り組み)

- ・学生の学びと交流空間の運営
- ・豊橋わかば議会の開催
- ・大学生・高校生の意欲的な自主活動の支援
- ・パートナーシップ制度の実施
- ・のんほいパークでの魅力的なイベントの開催
- ・自然史博物館での大型映像の上映、特別企画展の開催
- ・まちなか図書館、まちなか広場の利用開始
- ・道の駅とよはしを拠点とした観光の振興
- ・連続テレビ小説「エール」を活用した地域活性化の促進
- ・UIJターンや移住を促進するための企業や移住者への支援
- ・歩いて暮らせるまち区域定住促進補助
- ・首都圏での移住促進PR

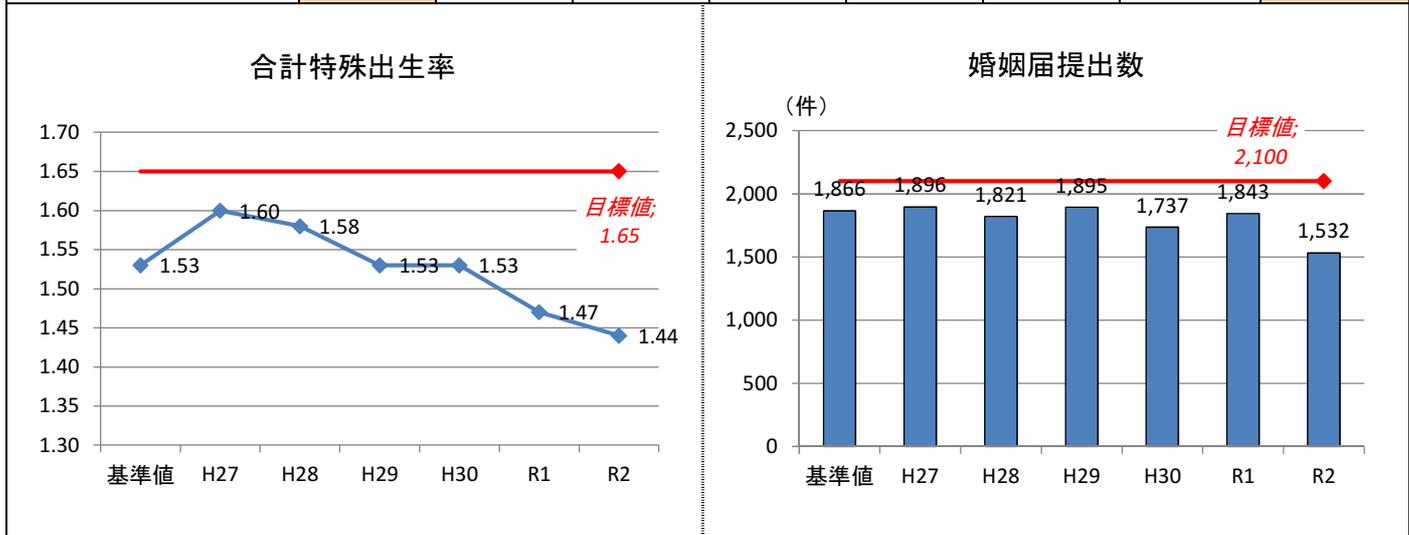
個別戦略

3 安心子育て環境づくり戦略

基本目標

出生数を増やし人口の底上げを図るため、若い世代が希望を持って結婚し、安心して子どもを産み育てることができる環境を地域ぐるみで整備していきます。

数値目標	基準値 (H26)	H27	28	29	30	R1	R2	目標値 (R2)
合計特殊出生率	1.53	1.60	1.58	1.53	1.53	1.47	1.44 (概数値)	1.65
婚姻届提出数	1,866件	1,896件	1,821件	1,895件	1,737件	1,843件	1,532件	2,100件



重要業績評価指標 (KPI)

3-1 結婚、出産、子育ての包括的支援体制の構築

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	28	29	30	R1	R2	目標値 (R2)
母子健康手帳交付時における妊婦への面接率	50.8%	71.0%	92.2%	100%	100%	100%	100%	100%

3-2 子育て支援サービスの充実

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	28	29	30	R1	R2	目標値 (R2)
認定こども園数 (累計)	2園	7園	9園	14園	18園	19園	22園	21園

3-3 地域ぐるみの子育て応援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	28	29	30	R1	R2	目標値 (R2)
子育て応援企業認定事業所数 (累計)	89事業所	168事業所	190事業所	231事業所	277事業所	310事業所	337事業所	340事業所

▼アクションプランの実施状況及び事業評価

3-1 結婚、出産、子育ての包括的支援体制の構築

- 産後うつなどにつながる産婦の心身の不調を早期にキャッチするため、「産婦健康診査」の回数を増やしました。また、親族等の十分な支援が得られない方を対象とした、心身のケア等を行う「産後ケア」事業に訪問（アウトリーチ）型を加え、産婦と乳児のサポートを充実しました。（産婦健康診査事業・産後ケア事業）
- 不妊治療にかかる治療費の一部補助について、法律婚だけでなく、事実婚の夫婦を対象に加え、所得にかかる制限を廃止するとともに補助額を増額し、妊娠を望む人への支援の拡充を行いました。（不妊治療費補助事業）
- 里帰りのできない産婦に対する育児サービス利用料の助成や、オンラインでの産婦個別相談や健康指導等、新型コロナウイルス感染症の影響下でも妊産婦への支援を継続しました。（オンラインによる保健指導等実施事業）
- 新型コロナウイルス感染症のため、様々な負担や不安を抱えながら子育てを開始する家庭を支援するため、定額給付金の対象とならない新生児のいる家庭を支援しました。（新生児臨時特別給付金）
- 交流会や Zoom を使用したオンラインでの結婚支援セミナーを開催するなど、多様なアプローチで結婚を支援しました。また、婚活サポーターの活動により 4 組が成婚しました。（結婚支援事業）

対象 事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
7	2	3	0	2	3	0	2	2	1,381,207

3-2 子育て支援サービスの充実

- 幼児教育・保育の無償化に加えて、市独自の 0～2 歳児の保育料や給食費（副食費）の免除等による保護者の経済的な支援を実施するとともに、ミラまち子育て支援センターを開設するなど、利用者ニーズに対応した子育て支援サービスを充実しました。（幼児教育・保育の無償化等）
- 子ども食堂を新たに開設する事業者やフードバンクへの補助金を創設し、子育て支援に取り組む団体などを支援しました。（子どもの未来応援事業）
- 転入者の孤立予防や交流のきっかけ作りとして、こども未来館において転入者や保育園等の入園を検討する方への親子講座を新たに開始しました。（こども未来館子育て支援事業）
- 八町小学校でイマージョン教育コースを開設し、英語のコミュニケーション力を自分の長所として生かし、グローバル社会で活躍することができる子どもを育成する環境を整備しました。（英会話のできる豊橋っ子育成事業）
- 全児童生徒に 1 人 1 台タブレット型端末を配備し、高速ネットワーク環境を整備することで、とよはし版 GIGA スクールを推進する学習環境を整えました。（コンピュータ活用事業）

対象 事業数	実績評価結果				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
23	4	14	0	5	7	1	12	3	14,860,219

*実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる
c：あまり順調に進んでいない —：評価しない

3-3 地域ぐるみの子育て応援

- ・「とよはし子育て応援宣言」の缶バッジを制作して配布したほか、子どもたちの声を聴き、みんなで子どもたちの未来を考えるためのワークショップ「ハグっこ未来トーク」を開催し、子育てする人を社会全体で応援するまちを目指した活動を推進しました。(とよはし子育て応援宣言の推進)
- ・児童相談所設置等の検討に関する有識者会議を実施し、「児童相談所設置の基本的な考え方」及び「児童相談所設置のあり方について」を取りまとめ、本市に相応しい児童相談体制のあり方について検討を進めることができました。(児童相談支援事業)
- ・学習に遅れがあっても家庭の事情などで学習塾へ通うことができない中高生を対象に、元教員や大学生スタッフによる学習支援教室を開催しました。(地域未来塾ステップ推進事業)
- ・小学生にとって放課後の安全・安心な居場所となり、地域の方と多様な体験活動や学習などもできる「トヨッキースクール」を、25校区で開催しました。(トヨッキースクール推進事業)
- ・男性の家事・育児参加を促すライフアップセミナーや、男女共同参画をテーマとした写真や標語の募集・展示を通じて、家庭や職場におけるワーク・ライフ・バランスへの意識啓発を図りました。(男女共同参画センター管理運営事業)
- ・カメラ付きLED防犯灯の設置への補助を開始し、地域の防犯力を高めました。(防犯カメラ設置費補助事業)

対象事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算(千円)
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
9	0	9	0	0	4	0	5	0	162,179

*実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる
c：あまり順調に進んでいない —：評価しない

■個別戦略の総合評価

令和2年度は、不安を抱える子育て世代への支援や、小中学校での感染症対策など、コロナ禍においても安心して子育てできる環境づくりを行いました。

一方で、数値目標である合計特殊出生率と婚姻届提出数は、どちらも減少となりました。いずれも全国的にも減少しており、合計特殊出生率は全国と同程度の減少、婚姻届提出数は全国の減少率よりも低い水準にとどめることができました。KPIでは、すべての指標が順調に推移する結果となりました。

着実に施策を進めましたが、数値目標が目標値と大きくかい離していることから、本個別戦略では、今後さらなる取り組みを実施していく必要があると認識しています。

目標の達成に向けた進捗状況

(A：順調に進んでいる B：概ね順調に進んでいる C：あまり順調に進んでいない)

C

■今後の展開

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、個別戦略として「笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』」を掲げ、結婚や出産を望む人にとって障壁となる経済面や働き方等への不安を解消するとともに、地域ぐるみで子育てや子どもたちの未来を応援するため、以下のような取り組みを展開していきます。

(主な取り組み)

- ・国が実施する、幼児教育・保育無償化に加え、低所得世帯第2子の保育料の無償化や届出保育施設利用料の市独自の助成制度新設
- ・幼稚園等の認定こども園への移行の促進
- ・0歳の多胎児がいる世帯に、ファミリーサポートセンターの無料利用チケットを配布
- ・夏休み期間中に食事の提供を通した見守り体制強化
- ・養育費確保に向けた公正証書作成費用の助成
- ・児童相談所設置を含めた児童相談体制のあり方について、引き続き検討
- ・保健所や地域の子育て支援機関との連携強化
- ・小中学生に1人1台配備したタブレット型端末の活用（とよはし版GIGAスクールの推進）
- ・放課後の新たな学びの場（のびるん de スクール）を拡充
- ・特定不妊治療の補助額の増額（拡充）による経済的負担の軽減
- ・不育に悩む方の保険適用外の先進医療検査に対する助成
- ・多胎妊産婦への支援の拡充（妊婦健康診査を14回から19回に拡大、育児支援サポーターの派遣）
- ・新型コロナウイルス感染症のため、妊娠・出産・育児等に強い不安を抱える妊産婦への支援（育児支援・分娩前ウイルス検査・感染者への寄り添い支援）
- ・ライフアップセミナーの実施
- ・多文化子育てサロン事業の実施
- ・地域防犯事業の実施
- ・防犯カメラ設置費補助事業の実施
- ・周産期医療における医師、助産師の確保
- ・教育機関などとの連携による芸術文化の創造力を活かしたまちづくりの推進

個別戦略

4 快適で暮らしやすいまちづくり戦略

基本目標

今後の人口減少に適応した都市構造への転換を図るため、都市機能の集積と公共交通による連携を進めるとともに、長期的な視点から、公共施設の統廃合などを推進し、コンパクトで利便性の高いまちづくりを進めます。

数値目標	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
居住誘導区域内人口*	265,551人	265,533人	265,329人	265,130人	265,196人	265,450人	264,599人	維持
中心市街地の人口	9,865人	9,668人	9,789人	9,755人	9,732人	9,701人	9,779人	維持



重要業績評価指標 (KPI)

4-1 コンパクト+ネットワークの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
1日当たりの公共交通利用者数	79千人/日	81千人/日	82千人/日	83千人/日	83千人/日	82千人/日	73千人/日	83千人/日

4-2 魅力ある中心市街地の整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
中心市街地休日歩行者通行量	57,455人	58,430人	64,680人	55,366人	60,107人	57,639人	45,435人	61,000人

4-3 既存ストックのマネジメント強化

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
空家バンクによる空家の利活用件数(累計)	—	7件	14件	21件	32件	35件	40件	44件

* 平成30年9月に豊橋市立地適正化計画を策定・公表したため、数値目標を居住誘導区域人口（各年4月1日より推計）としています。

▼アクションプランの実施状況及び事業評価

4-1 コンパクト+ネットワークの推進

- ・立地適正化計画に基づき、居住ならびに都市機能の誘導を図るとともに、居住誘導にあたっては定住促進事業を実施することで誘導促進を行いました。（定住促進事業）
- ・東田停留場～競輪場前停留場間の軌道敷整備を進め、利用者の安全性や快適性を向上させました。（路面電車活性化推進事業）
- ・赤岩口停留場、競輪場前停留場のサイクル&ライド駐輪場整備を行い、交通結節機能の強化を行いました。（交通結節機能強化事業）
- ・路線バスの運行情報をリアルタイムで提供するロケーションシステムの導入支援を行い、公共交通機関の利便性を高めました。（路線バス幹線化事業ほか）
- ・自転車組立場所の整備、サイクルトレインのPR、サイクルピット整備を実施するとともに、外国語版サイクリングマップを作成し、自転車利用の促進を行いました。（自転車活用推進事業）
- ・外国籍の方と、市内の路線バス事業者やタクシー事業者等とをマッチングを行い、市内の路線バス等の運転士不足の解消を図り、公共交通の維持を支援しました。（路線バス等外国人運転士確保支援事業）

対象事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	－	充実	縮小	維持	完了・廃止	
7	1	3	0	3	3	0	3	1	260,975

4-2 魅力ある中心市街地の整備

- ・まちなか図書館内装工事を行ったほか、開館に向けたプレ事業の試行的実施や情報紙の発行等により、図書館と連携する地域人材との関係構築及び市民理解の促進を図りました。（まちなか図書館（仮称）整備事業）
- ・豊橋駅前大通二丁目地区において、再開発ビル（東棟）の躯体工事が概ね完了し、まちなか広場の工事が始まりました。（市街地再開発事業、まちなか広場整備事業）
- ・萱町通りと水上ビル（北側）では一部区間で高質な空間の整備工事を行い、沿線住民による花や植栽の維持管理が行われ、中心市街地の新たな魅力の創出に取り組みました。（ストリートデザイン事業）
- ・アーティストが市内に滞在し、創作活動を行い発表したほか、穂の国とよはし芸術劇場で良質な舞台芸術を上演して多くの人を呼び込み、まちなかのにぎわいを創出しました。（アートによる魅力発信事業）
- ・豊橋駅東西自由連絡通路にストリートピアノを設置したことで、ピアノ演奏を通じた人々との交流を促進し、豊橋駅から本市の文化を市内外にPRすることができました。（ストリートピアノ設置・維持管理事業）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	－	充実	縮小	維持	完了・廃止	
10	8	0	1	1	3	0	3	4	4,852,130

*実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる
c：あまり順調に進んでいない ー：評価しない

■個別戦略の総合評価

令和2年度は、コンパクトで利便性の高いまちづくりに資する取り組みを着実に実施できました。

数値目標である居住誘導区域内人口は減少していますが、総人口の減少率と比較すると緩やかであり、総人口に占める居住誘導区域内人口の割合は増えています。一方で中心市街地の人口は、総人口が減少する中でも増加となりました。KPIでは、公共交通利用者数と中心市街地休日歩行者通行量は減少となりました。これは新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えられます。空家バンクによる空家の利活用件数については、昨年度から5件の増加となりました。

数値目標及びKPIは、新型コロナウイルス感染症や総人口の影響を勘案すると、順調に推移したと考えられることから、本個別戦略は概ね順調に進めることができたと認識しています。

目標の達成に向けた進捗状況

(A：順調に進んでいる B：概ね順調に進んでいる C：あまり順調に進んでいない)

B

■今後の展開

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、個別戦略として「持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』」を掲げ、本格的に人口が減少するなか、まとまりのある都市づくりを着実に進めていく必要があります。このため、立地適正化計画に基づく都市機能や居住の誘導及び公共交通機関の利便性の向上、既存ストックの適切な管理運営をはじめとする以下の取り組みを展開します。

(主な取り組み)

- ・立地適正化計画に基づく都市機能と居住の誘導
- ・交通結節点の強化（高師駅のサイクル&ライド駐輪場の整備支援）
- ・自転車を活用されるまちづくりの推進（サイクルトレインPR事業、サイクリングマップ増刷）
- ・中心市街地の老朽化した街区の解消による都市機能の集約
- ・都市機能の更新や市街地環境の整備、改善を促す民間事業者への支援
- ・官民連携した公共空間の利活用推進
- ・西口住宅2号棟の建替工事
- ・長期的な視点による公共施設のあり方の整理（施設再配置計画の策定）
- ・複合化モデル事業の推進

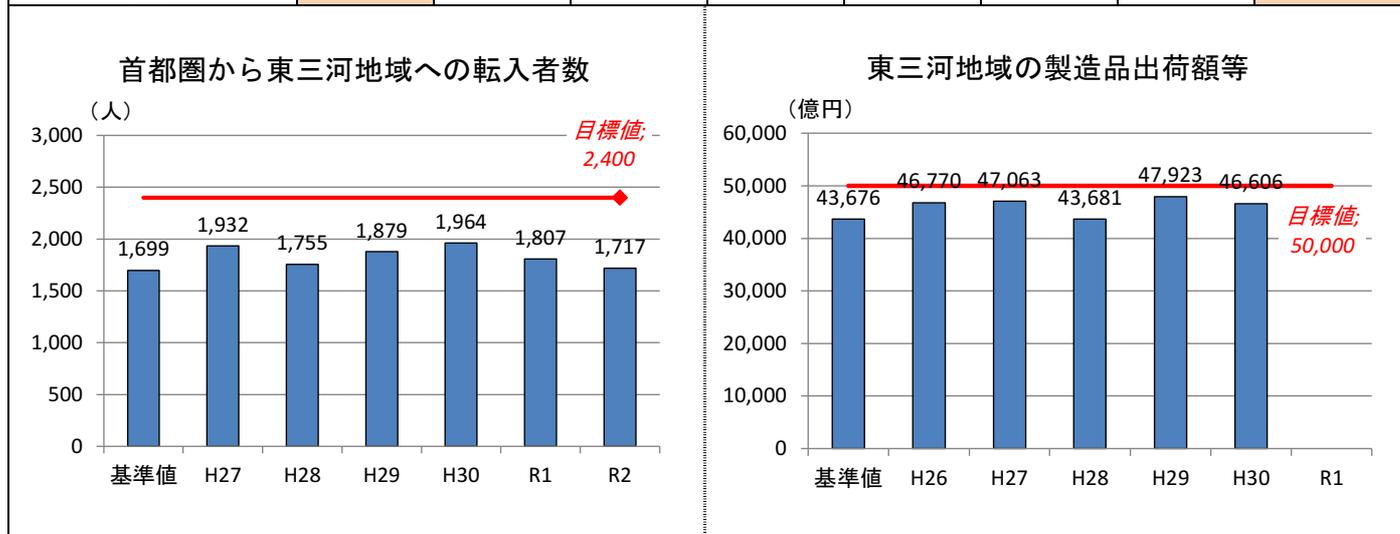
個別戦略

5 広域連携による地域づくり戦略

基本目標

東三河地域の将来にわたる持続的な発展のため、関係市町村等との連携により魅力と活力に満ちた広域的な地域づくりを推進します。

数値目標	基準値	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
首都圏 ^{*1} から東三河地域への転入者数 ^{*2}	1,699人 (H26)	1,932人	1,755人	1,879人	1,964人	1,807人	1,717人	2,400人
東三河地域の製造品出荷額等	4兆3,676億円 (H25)	4兆6,770億円 (H26)	4兆7,063億円 (H27)	4兆3,681億円 (H28)	4兆7,923億円 (H29)	4兆6,606億円 (H30)	令和3年12月公表予定	5兆円 (R1)



重要業績評価指標 (KPI)

5-1 広域連携による活力ある経済生活圏の形成

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
広域連携事業実施数 (累計)	290件	286件	300件	313件	313件	324件	324件	330件

5-2 広域連携による持続可能な地域づくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	目標値 (R2)
東三河広域連合による共同処理事務本格実施数	0事業	2事業	5事業	5事業	7事業	8事業	8事業	9事業

*1 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の一都三県

*2 前年度の10月から当年度の9月までの転入者数

▼アクションプランの実施状況及び事業評価

5-1 広域連携による活力ある経済生活圏の形成

- ・東京吉祥寺において東三河広域連合による期間限定ブランドショップを開設し、現地調査およびプロモーションを行いました。（東三河ブランドショップ事業）
- ・東三河のサイクルルートに掲載したマップを発行し、コロナ禍における観光コンテンツとしてサイクルツーリズムによる誘客を図りました。（広域行政推進事業）
- ・新幹線駅利用促進期成同盟会によるポスターやクリアファイルの作成を行い、新幹線の利便性向上に向けた機運を醸成しました。（広域行政推進事業）
- ・「ウィズコロナ時代における県境連携の再価値化」をテーマとした、三遠南信サミットをオンラインで開催し、コロナ禍における三遠南信地域の連携のあり方を議論しました。（三遠南信地域連携推進事業）
- ・愛知県の主催するオンライン移住イベントに参加し、東三河の暮らしやすさを全国にPRしました。（総合戦略推進事業費）

対象事業数	実績評価結果*				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
8	1	5	0	2	5	0	3	0	196,628

5-2 広域連携による持続可能な地域づくり

- ・オンライン対面相談に必要な ICT 機器を整備し、感染リスクの低減及び相談体制の安定化を図りました。（東三河広域連合消費生活相談事業）
- ・豊橋田原ごみ処理施設の整備に向けて、豊橋田原ごみ処理施設整備計画（改訂版）、環境影響評価方法書（変更）及び都市計画（変更）の概略の案を公表しました。（豊橋田原ごみ処理施設整備事業）
- ・豊橋市民病院 HP 内に東三河地域の医療情報や他自治体の地域連携登録医を閲覧できる機能を追加し、地域で総合的かつ継続的に治療・療養が受けられる環境を整えました。（医療における地域連携推進事業）
- ・通信指令員の機器操作の習熟、緊急通報への対応能力の向上を継続的に図ることにより、東三河での 119 共同受信の円滑化を図りました。（消防通信指令事業）

対象事業数	実績評価結果				細事業の方向性				決算（千円）
	a	b	c	—	充実	縮小	維持	完了・廃止	
8	0	5	0	3	3	0	5	0	37,754,271

*実績評価結果 a：順調に進んでいる b：概ね順調に進んでいる
c：あまり順調に進んでいない —：評価しない

■個別戦略の総合評価

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で市町村間の移動が制限される中、オンラインでのイベントの実施など、自治体間の連携を継続しました。

一方で、首都圏から東三河地域への転入者数は減少となりました。全国で見ると、市町村間の移動者数は減少しており、コロナ禍で人の移動が制限されたことが原因と考えられます。また、東三河地域の製造品出荷額等についても、新型コロナウイルス感染症の影響を考えると、先行きは不透明です。KPIの2つは令和元年度まで順調に進捗していましたが、令和2年度はどちらも横ばいという結果となりました。

数値目標は伸び悩んでいることから、本個別戦略は、今後さらなる取り組みを実施していく必要があると認識しています。

目標の達成に向けた進捗状況

(A：順調に進んでいる B：概ね順調に進んでいる C：あまり順調に進んでいない)

C

■今後の展開

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略では、計画を推進するための「多様な主体と築く『パートナーシップ』」を、横断的な視点とし、引き続き、関係自治体等と連携した持続可能な地域づくりを展開していきます。

(主な取り組み)

- ・東三河ブランドショップの検討調査
- ・東三河広域連合共同処理事務の実施
- ・東海道新幹線駅の利便性向上のための要望活動の実施
- ・三遠南信地域での連携事業の充実
- ・豊橋田原ごみ処理広域化計画の推進
- ・市民病院と地域の医療機関及び福祉介護関係機関との連携強化
- ・消防通信指令システムの強化

2. 豊橋市まちづくり市民会議からの意見

総合戦略の評価にあたり、令和3年度第1回豊橋市まちづくり市民会議を7月21日に開催し、委員の皆さまにご意見をいただきました。

■主な意見と関連する個別戦略

	1 活力あるしごとづくり戦略	2 ひとの流れづくり戦略	3 安心子育て環境づくり戦略	4 快適で暮らしやすいまちづくり戦略	5 広域連携による地域づくり戦略	その他全般に関するもの
【例】豊橋の良さを発信することに力を入れる必要がある。						○
【例】東京在住の方がコロナ禍で仕事のやり方が変わり、豊橋へ戻ることを検討している人もいる。状況をチャンスと捉え動いていきたい。	○	○		○		

IV. 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、2020（令和2）年度をもって計画期間が終了しましたが、本市の人口は、依然として減少傾向であり、大変厳しい状況が続いています。こうしたことを鑑み、取り組みの効果を高めるとともに新たな事業の立案にも積極的に取り組み、さらなる人口減少対策を推進するため、令和3年2月、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（第6次豊橋市総合計画まちづくり戦略）を策定しました。

第2期総合戦略では、4つの「個別戦略」を掲げ、「数値目標」や「施策の基本方針」を定めています。人口減少対策の特に重要な要素と考える「若者」及び「女性」に力点を置き、将来に向かって人口減少に歯止めをかけるための、さまざまな施策を実施していきます。

“若者”
“女性”
に力点
を置く

将来に向かって『人口減少に歯止め』をかける

1 活力みなぎる『しごとづくり』

<特に注力！>

- ✓豊橋で“若者”や“女性”が働きたくなる仕事の創出
- ✓豊橋が誇る技術の伝承と新しい技術の導入

（施策の基本方針）

1. 人材力の強化と事業承継への支援
2. 新ビジネスの創出と経営革新
3. 産業の魅力発信と誘致

2 選ばれ集う『ひとの流れづくり』

<特に注力！>

- ✓若い世代を惹きつけるまちの魅力創造
- ✓まちなかエリアへの人の呼び込み

（施策の基本方針）

1. 定住都市の推進
2. 交流・関係人口の拡大
3. 移住の促進

3 笑顔あふれる『子育て・教育環境づくり』

<特に注力！>

- ✓子育てと仕事を両立できる環境づくり
- ✓子どもたちの「学びたい」をかなえるための環境づくり

（施策の基本方針）

1. 結婚から出産、子育てまでの包括的支援
2. 働きながら子育てできる環境づくり
3. 質の高い教育

4 持続可能で暮らしやすい『都市空間づくり』

<特に注力！>

- ✓利便性の高い移動環境の創出
- ✓再生可能エネルギー利用100%のまちづくり

（施策の基本方針）

1. 便利で快適に暮らせるまちの形成
2. 既存ストックの有効活用
3. 暮らしの安全・安心の確保
4. 自立循環型社会の形成

〈共通認識〉

多様な人材の活躍を推進する

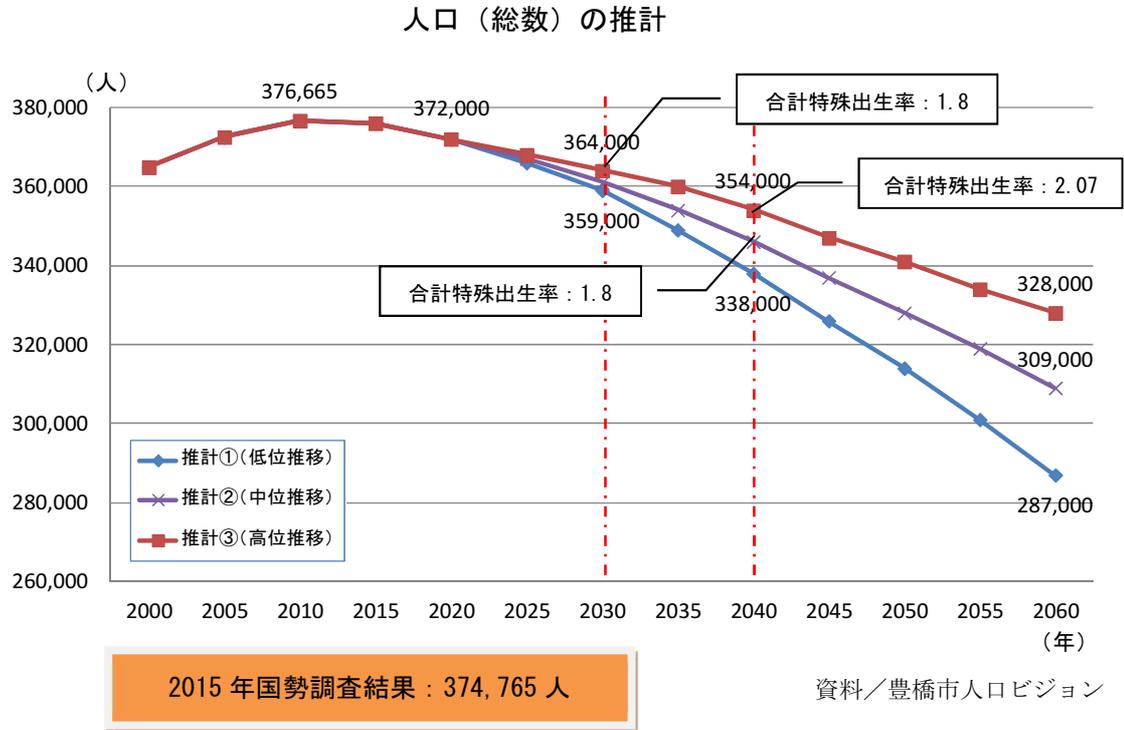
新しい時代の流れを力にする

新しい生活様式に適應する

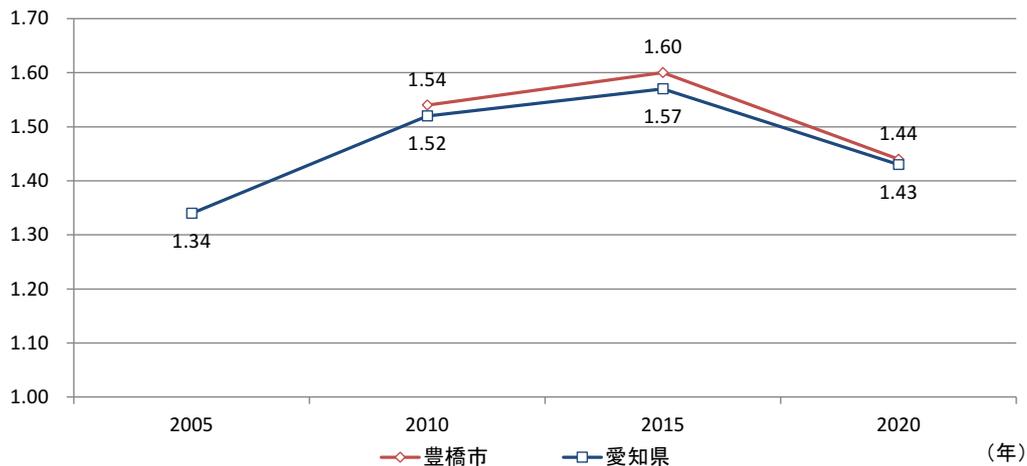
參考資料

1. 豊橋市の人口

2015年（平成27年）国勢調査結果によると、平成27年の豊橋市の人口は374,765人で、豊橋市人口ビジョンで示した推計値376,000人より1,200人程度下回る結果となりました。また、住民基本台帳によると、2015年にはじめて自然増減数がマイナスとなりました。



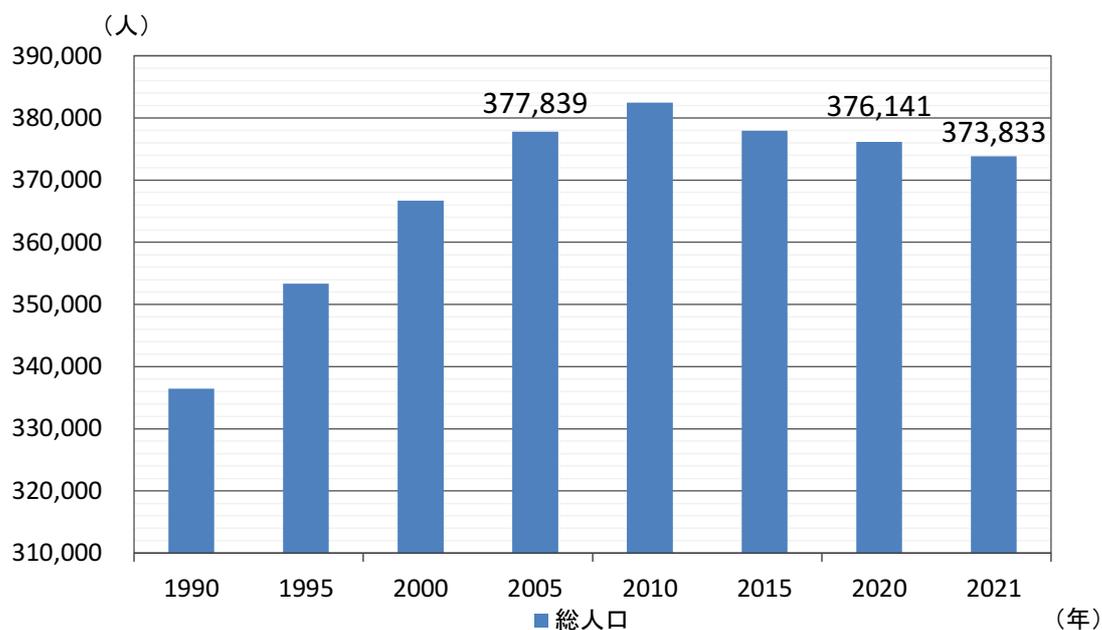
【参考】合計特殊出生率



注) 2020年の合計特殊出生率は概数値である

資料／愛知県の人口動態調査、豊橋市保健所

人口の推移（住民基本台帳）



資料／住民基本台帳（各年4月1日現在）

人口増減数の推移（住民基本台帳）

年	人口増減数 (人)	自然増減数(人)		社会増減数(人)			
		出生	死亡	転入	転出	その他	
2000	3,129	1,536	2,449	1,593	15,151	13,621	63
2001	2,130	1,500	2,430	630	14,208	13,567	-11
2002	1,635	1,354	2,461	281	13,982	13,720	19
2003	1,942	1,073	2,639	869	15,389	14,360	-160
2004	2,396	1,024	2,650	1,372	15,900	14,505	-23
2005	1,857	731	2,806	1,126	15,945	14,821	2
2006	2,210	777	2,843	1,433	15,639	14,401	195
2007	2,092	844	2,849	1,248	15,287	14,117	78
2008	1,135	696	2,989	439	14,284	13,925	80
2009	-1,787	791	2,896	-2,578	12,578	15,371	215
2010	-1,239	480	3,087	-1,719	11,396	13,214	99
2011	-748	483	3,162	-1,231	11,325	12,607	51
2012	-989	154	3,331	-1,143	11,379	11,679	-843
2013	-1,142	82	3,357	-1,224	11,080	11,039	-1,265
2014	-692	48	3,136	-740	10,987	11,141	-586
2015	-405	-61	3,398	-344	11,814	11,582	-576
2016	-467	-181	3,417	-286	11,931	12,070	-147
2017	-457	-596	3,614	139	12,642	12,382	-121
2018	-258	-673	3,676	415	14,497	13,833	-249
2019	-159	-841	3,605	967	15,408	14,241	-200
2020	-2,100	-1,042	3,733	-1,058	11,423	12,441	-40

資料／住民基本台帳

年齢5歳階級別（15歳以上40歳未満）男女別
社会増減数（住民基本台帳）

		15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	
2018年	社会増減数(人)	-70	-257	-140	-133	-52	
	男性		1	-83	-70	-79	-41
		転入	281	1,086	819	612	420
		転出	280	1,169	889	691	461
	女性		-71	-174	-70	-54	-11
		転入	149	653	721	461	280
	転出	220	827	791	515	291	
2019年	社会増減数(人)	-122	-302	-155	-134	-49	
	男性		-32	-97	-126	-59	-5
		転入	254	1,080	847	592	419
		転出	286	1,177	973	651	424
	女性		-90	-205	-29	-75	-44
		転入	136	668	731	445	266
	転出	226	873	760	520	310	
2020年	社会増減数(人)	-108	-301	-151	-118	31	
	男性		-68	-118	-103	-88	26
		転入	210	1,088	822	540	423
		転出	278	1,206	925	628	397
	女性		-40	-183	-48	-30	5
		転入	137	707	701	449	259
	転出	177	890	749	479	254	

資料／住民基本台帳人口移動報告

2. 総合戦略に関連する細事業評価

細事業の評価について

総合戦略を実現する手段である細事業の進行管理と改革改善を行うため、細事業ごとに実績を測る指標を設定し、それを継続的に把握するとともに直接事業費の増減により、進捗を評価しています。

細事業は下表の4類型に分類し、そのうち類型1～3を評価の対象としています。なお、事業費については直接事業費のみを評価することとしています。

類 型		備 考
1	ソフト事業	
2	ハード事業	工事のための補助金、一部の維持管理事業、修繕等を含む
3	その他事業	評価や改善がなじまない義務的な細事業で個別に決定
4	対象外事業	職員人件費や公債費など

■【実績評価】

進捗状況について、下記のとおり「a」～「c」で評価を行います。

・類型1（ソフト事業）

下表の評価基準を基本とし、細事業を取り巻く情勢等を勘案したうえで評価を行っています。ただし、令和2年度の新規ソフト事業等については、前年度との比較ができないため、実績評価は「－」として記載しています。

実績値	決算額		
	増加	横ばい	減少
向上	b	a	a
横ばい	c	b	a
悪化	c	c	b

a : 順調に進んでいる
b : 概ね順調に進んでいる
c : あまり順調に進んでいない

・類型2（ハード事業）

下表の評価基準により評価を行っています。

判断基準		
a（順調に進んでいる）	b（概ね順調に進んでいる）	c（あまり順調に進んでいない）
予定どおり事業が進捗した。	概ね予定どおり事業が進捗した。	予定どおり事業が進捗しなかった。

・類型3（その他事業）

評価や改善がなじまない義務的な事業のため、実績評価は「－」として記載しています。

■【方向性】

方向性	判断基準
充実	予算の増減に関わらず事業内容や規模を充実して実施するもの
縮小	事業内容や規模を縮小し実施するもの
維持	現状と同等の事業内容や規模で実施するもの
完了・廃止	事業を完了あるいは廃止するもの

細事業評価結果一覽

1 活力あるしごとづくり戦略

施策	細事業名	実績評価	方向性	
新産業の創出支援	海外販路拠点設置可能性調査事業費	-	維持	
	海外販路拠点設置事業費	b	維持	
	豊橋産農産物海外販路開拓事業費	b	維持	
	次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金	-	維持	
	先端農業技術普及支援事業補助金	a	維持	
	次世代「農力」UPアカデミー事業補助金	b	維持	
	イノベーション創出等支援事業費補助金	a	維持	
	オープンデータビジネス創出事業費	b	維持	
	衛星データ利活用促進支援事業補助金	-	維持	
	官民一体型新ビジネス創出事業費	-	維持	
	豊橋イノベーションガーデン運営事業補助金	b	維持	
	産業集積の促進	機構集積協力金	-	維持
		県営ほ場整備事業補助金	a	維持
県営ほ場整備事業負担金		a	維持	
ほ場整備事業計画調査事業補助金		-	完了・廃止	
産地生産基盤パワーアップ事業補助金		a	維持	
企業誘致活動事業費		b	維持	
企業立地促進奨励金		a	維持	
農業経営基盤強化促進対策事業費		a	維持	
就業促進・人材育成支援	農業人材強化総合支援事業費補助金	-	維持	
	農業経営発展支援事業補助金	a	維持	
	農福連携推進事業	-	維持	
	中小企業人材育成支援研修事業費	c	維持	
	社会人キャリアアップ支援事業補助金	a	維持	
	若年者就職支援事業費	a	維持	
	雇用確保安定事業費	b	維持	
	豊橋市シルバー人材センター補助金	a	維持	
	AIを活用した自立支援促進事業	b	維持	
	相談支援事業費	b	維持	
	管理事業費(くすのき特別支援学校教育推進事業費)	-	維持	
	教育活動事業費(くすのき特別支援学校教育推進事業費)	a	維持	
	管理事業費(市立高等学校教育推進事業費)	-	維持	
	教育活動事業費(市立高等学校教育推進事業費)	a	維持	
	管理事業費(家政高等専修学校教育推進事業費)	-	維持	
	教育活動事業費(家政高等専修学校教育推進事業費)	a	維持	
	多文化共生事業費	b	維持	
	男女共同参画啓発事業費	a	充実	
	女性キャリアアップ応援補助金	-	充実	
	事業者の経営力強化	中小企業振興助成金	b	維持
		ものづくり・夢づくり支援事業費	b	維持
中小企業感染症対策事業費		-	完了・廃止	
がんばる個店応援事業補助金		b	充実	
がんばる商店街共同事業応援補助金		-	完了・廃止	
消費喚起緊急対策共同事業補助金		-	完了・廃止	
がんばる飲食店緊急支援補助金		-	完了・廃止	
豊橋エールチケット補助金		-	完了・廃止	
消費喚起共同事業補助金		-	完了・廃止	
イベント感染症対策促進事業補助金		-	完了・廃止	
がんばる個店緊急支援補助金		-	完了・廃止	
愛知県・豊橋市新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業費		-	完了・廃止	
豊橋市新型コロナウイルス感染症対策協力金交付事業費		-	完了・廃止	
新型コロナウイルス感染症対策理美容休業協力金		-	完了・廃止	
中小企業事業賃料補助金		-	完了・廃止	
事業継続応援賃料補助金		-	完了・廃止	
小口事業資金預託金		-	維持	
経営安定資金預託金		-	維持	
小規模企業等振興資金預託金		-	維持	
中心市街地商業活性化資金預託金		-	維持	
創業支援資金預託金		-	維持	
中小企業団体共同事業資金預託金		-	維持	
小規模事業資金預託金		-	維持	
制度融資信用保証料補助金		b	維持	
経営安定資金特別対策補助金		b	維持	
愛知県経済環境適応資金特別対策補助金		-	維持	
愛知県新型コロナウイルス感染症対応資金特別対策補助金		-	完了・廃止	

2 ひとの流れづくり戦略

施策	細事業名	実績評価	方向性	
若者定住都市の推進	キッズ豊橋農業マイスター育成事業費	-	維持	
	学生の学びと交流空間運営事業費	-	維持	
	教育活動支援事業費	b	維持	
	スポーツ活動推進事業費	b	充実	
	スポーツを活用したまちの魅力発信事業	c	完了・廃止	
	総合運動場管理運営事業費	c	維持	
	岩田総合球技場管理運営事業費	c	維持	
	総合体育館管理運営事業費	b	維持	
	屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費	c	維持	
	総合スポーツ公園サッカー場管理運営事業費	-	維持	
	多目的屋内施設検討調査事業費	-	完了・廃止	
	文化がみえるまちづくり事業費	b	維持	
	市民協働推進補助金	b	充実	
	若者政策提案事業	-	維持	
	活字等広報事業費	b	維持	
	大学研究活動補助金	b	維持	
	交流人口の拡大	農産物プロモーション事業費	b	維持
		道の駅食農拠点推進事業費	b	充実
		地産地消プロモーション事業費	b	維持
		商業団体共同事業補助金	b	維持
プロモーション活動事業費		c	維持	
まつり開催費補助金		b	充実	
豊橋まつり開催費補助金		b	充実	
産業プロモーション推進事業費		b	縮小	
観光PR活動推進事業費		a	充実	
新型コロナウイルス感染症対策観光支援		b	完了・廃止	
豊橋観光コンベンション協会補助金		b	縮小	
動物園等管理運営事業費		c	充実	
施設営繕事業費		b	維持	
イベント企画運営事業費		c	充実	
リニューアル事業費		b	完了・廃止	
みなとフェスティバル補助金		-	維持	
資料収集・調査研究活動事業費		b	維持	
施設管理事業費(二川宿本陣資料館事業費)		b	維持	
展覧会事業費		b	維持	
資料収集事業費		b	維持	
二川宿本陣まつり(大名行列)開催事業補助金		-	維持	
施設管理事業費(商家「駒屋」事業費)		b	維持	
自然環境保全推進事業費		b	維持	
移住・還流の促進		首都圏プロモーション活動事業費	a	維持
		職員採用事務費	-	維持

3 安心子育て環境づくり戦略

施策	細事業名	実績評価	方向性
結婚、出産、子育てでの包括的支援体制の構築	妊産婦保健事業費	b	維持
	乳幼児保健事業費	b	充実
	不妊治療費補助金	a	維持
	切れ目のない子育て支援事業費	a	充実
	新生児臨時特別給付金給付事業	-	完了・廃止
	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	-	完了・廃止
	子育てプラザ活動事業費	b	充実
子育て支援サービスの充実	子ども医療費助成事業費	b	維持
	子ども・子育て給付事業費	b	充実
	法人保育所・認定こども園整備費補助金	a	維持
	児童育成事業費	b	維持
	法人保育所等地域子ども・子育て支援事業費	b	充実
	公営児童クラブ運営事業費	b	充実
	民営児童クラブ運営事業費	b	充実
	放課後子ども教室運営事業費	b	縮小
	生活困窮者自立支援事業費	a	維持
	学力向上支援事業費	b	維持
	小中一貫教育推進事業費	b	充実
	英会話のできる豊橋っ子育て事業費	b	充実
	ワクワク・ワーク・イン・とよはし推進事業費	b	維持
	コンピュータ活用事業費	b	充実
	プログラミング教育推進事業費	-	完了・廃止
	学校給食管理事業費	a	維持
	私立高等学校授業料補助金	a	維持
	私立高等学校等学納金特別補助金	-	完了・廃止
	小・中学生在宅学習支援特別給付金	-	完了・廃止
	奨学金給付事業費	b	維持
教育活動事業費(小学校教育推進事業費)	-	維持	
教育活動事業費(中学校教育推進事業費)	-	維持	
地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金	b	維持	
地域ぐるみの子育て応援	児童相談支援事業費	b	充実
	子育て環境総合支援事業費	b	充実
	学校運営支援事業費	b	維持
	地域教育活動事業費	b	充実
	男女共同参画センター管理運営事業費	b	維持
	地域防犯事業費	b	維持
	防犯カメラ設置費補助金	b	維持
	交通安全実施団体補助金	b	維持
	ICT利活用推進事業費	b	充実

4 快適で暮らしやすいまちづくり戦略

施策	細事業名	実績評価	方向性
コンパクト+ネットワークの推進	軌道緑化維持管理事業費	b	維持
	都市計画事務費	-	充実
	歩いて暮らせるまち区域定住促進補助金	-	維持
	都市交通計画推進事業費	a	充実
	公共交通対策事業費	b	維持
	公共交通確保維持支援事業費	-	完了・廃止
	自転車活用推進事業費	b	充実
魅力ある中心市街地の整備	コミュニティ活動等促進事業補助金	a	完了・廃止
	リノベーションまちづくり推進事業費	a	充実
	まちなかインキュベーション事業等補助金	a	維持
	アートによる魅力発信事業費	c	維持
	駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発等事業費	a	充実
	豊橋駅西口駅前地区優良建築物等整備事業費	a	充実
	まちなか広場(仮称)整備事業費	a	完了・廃止
	豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費	-	維持
	ストリートデザイン事業費	a	完了・廃止
	まちなか図書館(仮称)整備事業費	a	完了・廃止
既存ストックのマネジメント強化	橋梁長寿命化事業費	a	維持
	西口住宅建替事業費	a	維持
	空家対策推進事業費	b	充実
	ファンリディマネジメント推進事務費	-	充実

5 広域連携による地域づくり戦略

施策	細事業名	実績評価	方向性	
広域連携による活力ある経済生活圏の形成	三河港振興会負担金	b	充実	
	広域行政推進事務費	a	充実	
	東三河広域連合広域行政推進事業負担金	b	充実	
	設楽ダム水源地域整備事業負担金	-	維持	
	設楽ダム水源地域対策事業負担金	-	維持	
	水源林地域対策事業負担金	b	維持	
	教育普及活動事業費	b	充実	
	幹線道路建設促進対策事務費	b	充実	
	広域連携による持続可能な地域づくり	診療事業	b	充実
		東三河広域連合介護保険事業負担金	-	維持
東三河広域連合障害福祉事業負担金		b	維持	
資源化センター施設整備事業費		b	維持	
通信指令事業費		-	充実	
消防団員管理事業費		b	充実	
東三河広域連合消費生活事業負担金		b	維持	
東三河広域連合旅券事務負担金		-	維持	

○豊橋市まちづくり市民会議

豊橋市まちづくり市民会議設置要綱

(設置)

第1条 豊橋市総合計画の推進に当たり、広く市民の意見を反映させるため、豊橋市まちづくり市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 市民会議は、次の事務を所掌する。

- (1) 総合計画に関する助言や提案に関すること。
- (2) まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する助言や提案に関すること。
- (3) 人口ビジョンに関する助言や提案に関すること。
- (4) 総合計画の効果検証に関すること。
- (5) その他まちづくり全般に関すること。

(組織)

第3条 市民会議は、産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体及びその他市長が認める者であって市長が委嘱した者並びに政策企画課職員をもって組織する。

- 2 会長は、委員とは別に政策企画課長をもって充てる。
- 3 委員は、別表のとおりとする。
- 4 任期は、市長が委嘱した日から当該年度末までとする。ただし、再任は妨げない。

(会議)

第4条 会長は、必要に応じて会議を招集する。

- 2 会議の議長は、政策企画課職員より選任した者をもって充てる。
- 3 委員は、事故その他やむを得ない事由により会議に出席できない場合は、あらかじめ会長の承認を得て代理人を出席させることができる。
- 4 会長が必要と認めた時は、委員以外の者の会議への出席を求め意見を聞くことができる。

(事務局)

第5条 市民会議の事務局は企画部政策企画課に置く。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和3年5月12日から施行する。

<委員名簿>

※敬称略

所属・職名	委員名
豊橋商工会議所	村井 裕一郎
豊橋青年会議所	中根 貴弘
豊橋農業協同組合	加藤 健一
豊橋商工会議所青年部	市橋 孝泰
豊橋技術科学大学	小野 悠
愛知大学	駒木 伸比古
豊橋創造大学	鈴木 宏幸
愛知県東三河総局	尾崎 洋子
豊橋市	樋口 聡子
豊橋信用金庫	西郷 鎮廣
連合愛知豊橋地域協議会	原田 恭輔
豊橋市自治連合会	川本 恭久
パパママレポーター	櫻井 望美
豊橋わかば議会	香田 和佳奈
市内大学学生	木内 あすか

平和・交流・共生の都市宣言

私たちのまち豊橋市は、市民自治の精神に立ち、人や地域、世界の国々とのつながりを大切に、“すべての人とともに生きる”、気概と誇りをもったまちづくりを進めています。

市制100周年を機に、私たちは、先人の英知と情熱の歴史を受け継ぎ、核の脅威のない真の恒久平和と世界の持続的な発展に貢献するため、広い分野にわたる交流と国際協力の取組みに努めます。

また、多様な文化や生活・習慣への理解を深め、自らの役割と責任を自覚するなかで、互いに信頼し尊重しあう心を持ち、人が輝き安心して生活できる地域づくりに取り組みます。

心豊かで笑顔あふれる豊橋を次の世代に引き継ぐため、私たち豊橋市民は、一人ひとりが、未来への夢と高い志を持ち、“世界に開かれ、世界に友人をもつ豊橋”、“平和を希求する豊橋”をめざすことを決意し、ここに「平和・交流・共生の都市」を宣言します。

平成18年12月18日

令和3年度

豊橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果報告書 (令和2年度個別戦略評価)

発行:令和3年 月

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地

豊橋市 企画部 未来創生戦略室

電話(0532)51-2180 FAX(0532)56-5091

電子メール sosei@city.toyohashi.lg.jp